

令和6年度 中学生の「税についての作品」入賞者

敦賀納税貯蓄組合連合会では、税についての理解と関心を深めていただくため、敦賀税務署管内の中学生を対象に「税についての作品」を募集しました。本年度は、作文と書道合わせて667点の応募があり、審査の結果、次の方が入賞されました。多数のご応募ありがとうございました。

作文の部

《金沢国税局長賞》

「身近にあった税金」

敦賀気比高等学校附属中学校3年 三宅 穂々

私の家は造り酒屋です。父と母がよく「酒税」と話しているのを聞いて、何のことだろうかと疑問に思っていました。私が知っているのは、自分が払わなければいけない消費税だけだったからです。税の作文の宿題が出たので、良い機会だと思い、酒税について調べてみました。すると、酒税とは日本酒やワイン、ビールなどのお酒にかかる税金のことだと分かりました。お酒には私の知っていた消費税と全然知らなかった酒税との二つの税金がかかっていることが分かり、とても驚きました。また、アルコールを必要以上に摂取してしまうと体に良くないから、アルコールは生活必需品でないからという二つの理由で酒税がかけられているということが分かりました。酒税がかけられている理由を知って私も確かに酒税は大切だなと感じました。たくさんの人にお酒をいっぱい飲んでほしいけれどお酒が原因で亡くなってしまうとそれ以上に悲しいからです。日本酒は、一リットルあたり百円の酒税がかかっています。他の国でも酒税はあるのか、また税率は変わるのかなど知りたくなったので調べてみることにしました。

まず、イタリアで調べてみました。イタリアはワインがとても有名だし、社員さんにイタリアの人がいるので少し身近な国だったからです。調べてみると、イタリアではワインなどのアルコールに酒税がかからないことが分かりました。ワイン

が有名なところはアルコールの摂取率が高いはずだから酒税の割合も上がると思っていたので驚きでした。もっと調べてみると、ワインの主要生産国ではないところのほうが高い税金がかかる傾向にあることが分かりました。宗教によってアルコールに対する考えの違いもあるということを知ったのでそれが原因かなと思いました。歴史の授業でイスラム教では禁酒が行われていたと習ったので現在にもそれが影響しているのだなと実感することができました。主要生産国ではない国のほうがイタリアなどの主要生産国に比べて、酒税がかかる理由はあると思うのでまた調べたいです。

私は酒税について調べる前、酒税の割合はどこでも同じだと思っていたので割合が違うことにとっても驚きました。国によって酒税が異なるのは宗教など昔からの文化が強く関係していることが分かりました。そして酒税がかかる理由がしっかりとあって、上手く成り立っているのだなと感心しました。税金があるおかげで、私たちみんなが守られていることに気が付きました。税金について学ぶのにも、いろんなことが関連しているのだなと感じました。税金といえば難しいイメージがあったので、今までは興味がありませんでしたが、これをきっかけに酒税以外にもいろんな税金について調べて将来に役立てたいです。

○北陸納税貯蓄組合総連合会長賞

北野 結菜(栗野中3年)

○福井県知事賞

中村 にいな(松陵中1年)

○福井県納税貯蓄組合総連合会長賞

芝池 隼也(松陵中1年)

○敦賀税務署長賞

桑原 伯明(角鹿中2年)

米田 姫夏(上中中3年)

○敦賀市長賞

柄島 奈那子(松陵中2年)

○若狭町長賞

奥村 咲希(三方中3年)

○美浜町長賞

北村 うた(美浜中3年)

○敦賀納税貯蓄組合連合会長賞

原田 七海(東浦中3年)

○敦賀青色申告会長賞

本吉 勇夢(角鹿中3年)

○公益社団法人 敦賀法人会長賞

横井 莉菜(上中中2年)

鳥居 愛優(栗野中1年)

○敦賀間税会長賞

岡本 麻優(気比中1年)

井上 心音(栗野中2年)

書道の部

○北陸納税貯蓄組合
総連合会長賞

秋元 励

(敦賀気比付属中3年)

○福井県納税貯蓄
組合総連合会長賞

梶田 柊羽

(気比中3年)

○敦賀税務署長賞

加藤 夏帆

(敦賀気比付属中3年)

○敦賀納税貯蓄組合
連合会長賞

西口 彩峰

(気比中2年)

○敦賀納税貯蓄組合
連合会長賞

武 沙弥佳

(敦賀気比付属中3年)

